

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書
【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】 九州財務局長
【提出日】 平成24年11月5日
【四半期会計期間】 第17期第1四半期（自平成24年7月1日至平成24年9月30日）
【会社名】 株式会社ビューティ花壇
【英訳名】 Beauty Kadan Co.,Ltd.
【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 三島 美佐夫
【本店の所在の場所】 熊本県熊本市南区流通団地1丁目46番地
【電話番号】 096-370-0004
【事務連絡者氏名】 取締役管理本部長 須浪 薫
【最寄りの連絡場所】 東京都墨田区両国4-31-16
【電話番号】 03-5625-4344
【事務連絡者氏名】 取締役管理本部長 須浪 薫
【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第16期 第1四半期連結 累計期間	第17期 第1四半期連結 累計期間	第16期
会計期間	自 平成23年7月1日 至 平成23年9月30日	自 平成24年7月1日 至 平成24年9月30日	自 平成23年7月1日 至 平成24年6月30日
売上高 (千円)	1,011,127	1,118,650	4,436,339
経常利益又は経常損失 () (千円)	2,369	1,997	155,101
当期純利益又は四半期純損失 () (千円)	12,316	11,126	123,563
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	14,692	9,968	125,224
純資産額 (千円)	505,982	590,847	637,883
総資産額 (千円)	1,638,145	2,371,333	2,309,157
1株当たり当期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額 () (円)	576.99	532.82	27,193.46
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)			
自己資本比率 (%)	27.4	21.8	24.6

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれる事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクに重要な変更はありません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、東日本大震災の復興需要等を背景として個人消費や設備投資に持ち直しの動きが見られており、景気は緩やかに回復しつつあります。しかしながら、欧州債務危機や長期化する円高などから依然として先行きは不透明な状況が続いております。

当社は、このような状況の中、中期経営計画の達成に向けてグループ一丸となって取り組んでおります。全社基本方針として新規顧客の積極的な開拓と既存顧客内での当社への発注シェアアップによる売上拡大、徹底的な経費削減を推進してまいりました。この結果、当第1四半期連結累計期間における当社グループの売上高は、1,118,650千円(前年同期比10.6%増)、営業損失は3,286千円(前年同期は212千円の利益)、経常損失は1,997千円(前年同期は2,369千円の損失)、四半期純損失は11,126千円(前年同期は12,316千円の損失)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(生花祭壇事業)

生花祭壇事業の売上高は、730,661千円(前年同期比4%減)となりました。経済産業省「特定サービス産業動態統計調査」によると、葬儀業の平成24年7月から平成24年8月までの売上高は90,981百万円(前年同期比1.1%減)、取扱件数は65,616件(前年同期比2.8%増)と金額ベースでは減少、件数ベースで増加傾向にあります(同調査は、平成24年1月分より葬儀業において、一部調査対象の追加等が行われており、平成23年12月以前の数値はリンク係数で除した数値で前年比較を行っております)。このような状況の中、前述の全社基本方針を徹底した結果、営業利益は76,888千円(前年同期比60.1%増)となりました。

(生花卸売事業)

生花卸売事業の売上高は、216,062千円(前年同期比8.6%増)となりました。東京都中央卸売市場「市場統計情報」(平成24年9月)によると、平成24年7月から平成24年9月までの切花累計の数量は264百万本(前年同期比1.3%減)、金額では14,772百万円(前年同期比6.4%減)となっております。当社では、前述の全社基本方針を徹底した結果、売上数量、売上金額ともに増加傾向にありましたが、当事業が属する花卉業界におきましても価格競争が激しく、営業利益は33,997千円(前年同期比25.7%減)となりました。

(ブライダル装花事業)

ブライダル装花事業の売上高は60,762千円(前年同期比19.4%増)となりました。結婚式場業は少子化と晩婚化の影響を受けており、経済産業省「特定サービス産業動態統計調査」によると、平成24年6月から平成24年8月までの結婚式場業の売上高は28,719百万円(前年同期比1.6%減)、取扱件数は9,927件(前年同期比4.5%減)と減少傾向にあります。ブライダル装花事業を請け負う連結子会社の株式会社One Flowerにおいて、新規顧客の積極的な開拓と既存顧客における当社への発注シェアアップによる売上

アップにより売上高、売上総利益ともに改善し、営業損失は1,036千円(前年同期は4,291千円の損失)となりました。

(土木・建設事業)

土木・建設事業は熊本市内及びその近郊にて事業をおこなっております。熊本県内の近年の工事の内容を見ると民間発注工事の落ち込みが著しく、公共工事は微増であります。熊本県は火山、白川、緑川と大きな河川があり、自然災害に備える維持、修繕工事は今後暫く堅調に推移をするものと思われれます。また、公共工事の特性上、工事の発注・完成時期が3月頃に集中し、9月頃までは閑散時期にあたります。この結果、土木・建設事業の売上高は66,867千円、営業損失は10,363千円となりました。

(その他の事業)

その他の事業は、システム開発事業を行っております。売上高は44,296千円、営業損失は9,721千円となりました。当事業は、葬儀関連会社に対する基幹システム、名札書きシステム及びモバイル端末を用いた電子カタログや建築事業者に対するCADシステムの開発、納品を行っております。

(2) 財政状態の分析

当第1四半期連結会計期間の総資産は、前連結会計年度末に比べ62,176千円増加し2,371,333千円となりました。流動資産は、前連結会計年度末に比べ71,623千円増加し、1,280,888千円となりました。これは主に現金及び預金の増加によるものであります。固定資産は、前連結会計年度末に比べ9,446千円減少し1,090,445千円となりました。これは主に、有形固定資産における減価償却によるものであります。

当第1四半期連結会計期間の負債は、前連結会計年度末に比べ109,211千円増加し、1,780,485千円となりました。流動負債は、前連結会計年度末に比べ7,489千円減少し、962,783千円となりました。これは主に、1年内返済予定の長期借入金と未払法人税等の減少によるものであります。固定負債は、前連結会計年度末に比べ101,723千円増加し、817,702千円となりました。これは主に、長期借入金の増加によるものであります。

当第1四半期連結会計期間の純資産は、前連結会計年度末に比べ47,036千円減少し、590,847千円となりました。これは主に、配当金の支払いによる利益剰余金の減少によるものであります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(4) 研究開発活動

該当事項はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	88,000
計	88,000

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成24年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成24年11月5日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	25,380	25,380	東京証券取引所 (マザーズ)	当社は単元株制度は採用しておりません。
計	25,380	25,380		

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成24年7月1日～ 平成24年9月30日	-	25,380	-	213,240	-	133,240

(6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(平成24年6月30日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成24年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 4,497	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 20,883	20,883	権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式
発行済株式総数	25,380	-	-
総株主の議決権	-	20,883	-

【自己株式等】

平成24年6月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
株式会社ビューティ花壇	東京都墨田区横網一丁目2番16号	4,497		4,497	17.72
計		4,497		4,497	17.72

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号。)に基づいて作成しております。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間(平成24年7月1日から平成24年9月30日まで)及び第1四半期連結累計期間(平成24年7月1日から平成24年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、監査法人よつば総合事務所による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	528,677	633,835
受取手形及び売掛金	464,480	429,859
完成工事未収入金	108,996	87,244
商品	5,452	5,883
仕掛品	1,225	2,981
原材料及び貯蔵品	20,671	12,149
未成工事支出金	62	-
その他	88,548	118,375
貸倒引当金	8,849	9,440
流動資産合計	1,209,265	1,280,888
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	439,077	423,719
減価償却累計額	173,044	163,091
建物及び構築物(純額)	266,032	260,628
工具、器具及び備品	203,510	183,242
減価償却累計額	141,412	126,327
工具、器具及び備品(純額)	62,098	56,915
土地	298,977	298,977
その他	142,206	151,039
減価償却累計額	62,356	69,904
その他(純額)	79,849	81,134
有形固定資産合計	706,958	697,656
無形固定資産		
のれん	74,384	71,728
その他	7,525	11,108
無形固定資産合計	81,910	82,837
投資その他の資産		
その他	352,465	349,860
貸倒引当金	41,442	39,908
投資その他の資産合計	311,023	309,951
固定資産合計	1,099,891	1,090,445
資産合計	2,309,157	2,371,333

	前連結会計年度 (平成24年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	106,550	116,003
短期借入金	158,890	198,890
1年内返済予定の長期借入金	334,072	319,712
未払法人税等	38,995	19,123
賞与引当金	1,260	13,007
その他	315,525	296,047
流動負債合計	955,294	962,783
固定負債		
社債	65,000	55,000
長期借入金	604,773	718,617
退職給付引当金	23,552	23,148
その他	22,654	20,936
固定負債合計	715,979	817,702
負債合計	1,671,274	1,780,485
純資産の部		
株主資本		
資本金	213,240	213,240
資本剰余金	133,240	133,240
利益剰余金	389,589	341,395
自己株式	161,503	161,503
株主資本合計	574,565	526,371
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,556	1,586
為替換算調整勘定	8,241	10,734
その他の包括利益累計額合計	6,684	9,148
少数株主持分	70,002	73,624
純資産合計	637,883	590,847
負債純資産合計	2,309,157	2,371,333

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】
【四半期連結損益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年7月1日 至平成23年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成24年9月30日)
売上高	1,011,127	1,118,650
売上原価	860,165	903,008
売上総利益	150,961	215,642
販売費及び一般管理費	150,748	218,929
営業利益又は営業損失()	212	3,286
営業外収益		
受取利息	144	247
受取地代家賃	2,625	2,975
保険返戻金	-	1,788
為替差益	1,516	-
その他	824	3,999
営業外収益合計	5,111	9,010
営業外費用		
支払利息	2,597	4,265
貸倒引当金繰入額	3,500	-
不動産賃貸費用	1,325	993
為替差損	-	1,523
その他	270	938
営業外費用合計	7,693	7,721
経常損失()	2,369	1,997
特別損失		
固定資産除売却損	11,585	5,774
その他	-	472
特別損失合計	11,585	6,246
税金等調整前四半期純損失()	13,954	8,244
法人税、住民税及び事業税	10,876	60
法人税等調整額	10,138	3,171
法人税等合計	738	3,232
少数株主損益調整前四半期純損失()	14,693	5,012
少数株主利益又は少数株主損失()	2,376	6,114
四半期純損失()	12,316	11,126

【四半期連結包括利益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年7月1日 至平成23年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失()	14,693	5,012
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	-	29
為替換算調整勘定	0	4,986
その他の包括利益合計	0	4,956
四半期包括利益	14,692	9,968
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	12,316	13,590
少数株主に係る四半期包括利益	2,375	3,621

【注記事項】

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年7月1日 至 平成23年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年7月1日 至 平成24年9月30日)
減価償却費	12,859千円	18,784千円
のれんの償却額	"	2,656 "

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自 平成23年7月1日 至 平成23年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年9月22日 定時株主総会	普通株式	42,696	2,000	平成23年6月30日	平成23年9月26日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの
該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 平成24年7月1日 至 平成24年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年9月21日 定時株主総会	普通株式	37,067	1,775	平成24年6月30日	平成24年9月24日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの
該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成23年7月1日 至 平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	生花祭壇事業	生花卸売事業	プライダル 装花事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	761,313	198,936	50,877	1,011,127	-	1,011,127
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	236,161	2,461	238,623	238,623	-
計	761,313	435,098	53,339	1,249,750	238,623	1,011,127
セグメント利益又は損 失()	48,038	45,765	4,291	89,511	89,298	212

(注)1. セグメント利益又は損失の調整額 89,298千円には、セグメント間取引消去489千円、各報告セグメントに配分していない全社費用 89,787千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自 平成24年7月1日 至 平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注)1	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	生花祭壇 事業	生花卸売 事業	プライダル 装花事業	土木・建設 事業	計			
売上高								
外部顧客への売上高	730,661	216,062	60,762	66,867	1,074,354	44,296	-	1,118,650
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	194,044	1,851	-	195,895	-	195,895	-
計	730,661	410,107	62,613	66,867	1,270,250	44,296	195,895	1,118,650
セグメント利益又は 損失()	76,888	33,997	1,036	10,363	99,485	9,721	93,050	3,286

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、システム開発事業であります。

2. セグメント利益又は損失の調整額 93,050千円には、セグメント間取引消去1,250千円、各報告セグメントに配分していない全社費用 94,300千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

(企業結合等関係)

当第1四半期連結会計期間(自平成24年7月1日至平成24年9月30日)

共通支配下の取引等

1. 取引の概要

(1) 対象となった事業の名称及び事業の内容

当社が熊本エリア(南九州地方)で展開する生花祭壇事業及びこれらに付帯するサービス等

(2) 企業結合日

平成24年9月1日

(3) 企業結合の法的形式

当社を分割会社とし、当社の完全子会社である株式会社One Flowerを承継会社とする吸収分割

(4) 結合後企業の名称

株式会社One Flower

(5) その他取引の概要に関する事項

当社が熊本エリア(南九州地方)で展開する生花祭壇事業を株式会社One Flowerへ集約し、地域性によるニーズに対してより柔軟に対応し、さらなる営業強化を進めるとともに、事業運営の最適化、経営資源の効率的活用により事業基盤の強化を図るために行ったものであります。

2. 実施した会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号平成20年12月26日)及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号平成20年12月26日)に基づき、共通支配下の取引として処理しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年7月1日 至平成23年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成24年9月30日)
1株当たり四半期純損失金額()(円)	576.99	532.82
四半期純損失金額()(千円)	12,316	11,126
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純損失金額()(千円)	12,316	11,126
期中平均株式数(株)	21,346	20,883

(注)潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年11月5日

株式会社ビューティ花壇
取締役会 御中

監査法人よつば総合事務所

指定社員
業務執行社員 公認会計士 神門 剛 印

指定社員
業務執行社員 公認会計士 高屋 友宏 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ビューティ花壇の平成24年7月1日から平成25年6月30日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（平成24年7月1日から平成24年9月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成24年7月1日から平成24年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ビューティ花壇及び連結子会社の平成24年9月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれておりません。